



平成28年11月23日  
杉並区広報課

## 平成28年度総合震災訓練

### 「自分たちのまちは自分たちで守る」訓練

11月23日（水・祝）午前10時から杉並区井草4丁目にある井草森公園及び旧杉並中継所で総合震災訓練を実施しました。今回の訓練は、休日に震度6強の首都直下地震が発生し、区内のビルや家屋が倒壊し、道路陥没、断水、停電等ライフラインも寸断している想定で、避難、救助・救援・救護活動訓練等を行いました。

杉並区では、いつ起こってもおかしくない、そして大きな被害が想定されている首都直下地震に備えるために、平成25年の東日本大震災などの大規模地震から得た教訓などの提言を反映した地域防災計画の見直し、平成27年には「減災目標」を設定するなどの修正を行ってきました。また、火災の発生や橋の崩落、倒木、道路冠水など被害状況をスマートフォンから災害対策本部に送信し、危険箇所を地図上で確認することができ、迅速な災害対応のための情報を集めることができる防災地図アプリ「すぎナビ」の導入。さらに、50mメッシュの地震被害シミュレーションにより、狭あい道路や耐震化などの減災対策を区民が身近に感じてもらう「見える化」に向けて取り組んでいます。

本日は防災関係機関や地域住民など約1200人が参加して、年に一度の総合震災訓練を実施しました。訓練では、防災地図アプリ「すぎナビ」を使った危険箇所の投稿や消防車の進入が困難な狭あい道路などでも住民自ら道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ簡単な操作で消火活動ができるスタンドパイプを使った訓練などを行いました。区ではこうした訓練を通じて区民による「自助・共助」体制を強化し、「自分たちのまちは自分たちで守る」意識を醸成していきます。



#### 【問い合わせ先】

危機管理室防災課 （電話）03-3312-2111